

各 位

上場会社名 滝沢ハム株式会社
 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
 (コード番号: 2293)
 問合せ先責任者 管理本部長 山口 輝
 (電話番号 0282-23-5640)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月20日付決算短信において公表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

(金額の単位: 百万円)

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,400	200	155	90	8.76
今回修正予想 (B)	16,300	9	△14	△131	△12.75
増減額 (B-A)	△1,100	△191	△169	△221	—
増減率 (%)	△6.3	△95.5	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	17,087	△141	△154	△338	△32.99

(2) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,000	440	330	220	21.42
今回修正予想 (B)	33,100	150	60	△90	△8.76
増減額 (B-A)	△1,900	△290	△270	△310	—
増減率 (%)	△5.4	△65.9	△81.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	34,126	△354	△406	△1,487	△144.84

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,400	190	140	80	7.79
今回修正予想 (B)	14,485	10	△17	△131	△12.75
増減額 (B-A)	△915	△180	△157	△211	—
増減率 (%)	△5.9	△94.7	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	15,206	△132	△155	△325	△31.73

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,000	410	300	200	19.47
今回修正予想 (B)	29,400	150	50	△90	△8.76
増減額 (B-A)	△1,600	△260	△250	△290	—
増減率 (%)	△5.2	△63.4	△83.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	30,362	△333	△403	△1,511	△147.13

3. 繰延税金資産の取崩額

当社の繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、平成21年3月期第2四半期において当該繰延税金資産86百万円を取崩すことといたします。

4. 修正の理由

(個別業績予想の修正理由)

当第2四半期の売上高につきましては、食肉部門の国産牛肉は和牛を中心に消費者ニーズの変化により需要が低迷し減少しましたが、国産豚肉の売上が好調に推移したことにより、食肉部門の売上高は前年同期に比べ微増となりました。しかしながら、食肉加工品については不採算商品の絞り込みや店頭での小売価格の低下及び取引先のブランド統一化等商品政策変更の影響により減少いたしました。

営業損益及び経常損益につきましては、前期に実施いたしました工場閉鎖等の効果により製造経費を中心に計画どおりのコスト削減をすることができましたが、食肉加工品売上の減少により売上総利益が減少したため営業利益10百万円、経常損失17百万円の計上となり、当初予想を下回る見込みとなりました。

また、当期純損益につきましては、営業利益、経常利益の減少要因に加えて特別損失として固定資産除却損23百万円を計上したことや上記の繰延税金資産の取崩し86百万円を行うことにより、当期純損益についても予想を下回り131百万円の四半期純損失を計上する見込みとなりました。以上の理由により、平成20年5月20日に発表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

通期につきましては、今後、新商品の導入により売上の回復を図ってまいります。当社を取り巻

く経営環境は厳しい状況下であり当初公表の売上高の達成は厳しいため、通期の業績予想につきましても修正いたします。

(連結業績予想の修正理由)

連結業績予想の修正につきましては、主に個別業績予想の修正に伴うものであります。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上